

日本における第二次世界大戦の 長期的影響に関する 学際シンポジウム —全体像の理解—

トラウマは、個人、家族だけでなく、社会・文化にも影響を与え、世代を超えて伝わっていきます。第二次世界大戦は30カ国が関与し7,000万人以上が亡くなった世界史上最悪の戦争でした。これまでの研究は、世界中において、第二次世界大戦が社会全体に長期的な影響を及ぼしていることを明らかにしてきました。しかし日本における第二次世界大戦のトラウマと長期的な影響についての研究は十分に共有されてきませんでした。

このため、私たちは、日本における第二次世界大戦のトラウマとその長期的な影響について学際的に話し合う5回のシンポジウムを計画し、開催してきました（裏面参照）。

最終回である第5回は、これまでの4回の成果をもとに、公開シンポジウムとして開催します。ぜひご参加ください。

14:00 ▶ 開会あいさつ

森 茂起（日本における第二次世界大戦の長期的影響に関する
学際シンポジウム実行委員会代表・甲南大学文学部教授）

14:10 ▶ 第1回から第4回シンポジウムの報告

日本における第二次世界大戦の経験（第1回）

中村江里（広島大学大学院人間社会科学研究科准教授）

日本は戦争にどのように反応したか（第2回）

森 茂起

トラウマとポジショナリティー日本の加害者と被害者としての役割—（第3回）

栗津賢太（上智大学グリーンケア研究所客員研究員）

第二次世界大戦の長期的影響（第4回）

川野健治（立命館大学総合心理学部教授）

15:30 ▶ 休憩

15:40 ▶ 講演：世代を超えた集団におけるトラウマ、 文化におけるトラウマ

オイゲン・コウ（精神科医／メルボルン大学シニア・フェロー）

※日本語同時通訳あり

16:40 ▶ 休憩

16:50 ▶ 全体討論

17:50 ▶ まとめ・閉会あいさつ

竹島 正（一般社団法人全国精神保健福祉連絡協議会会長
大正大学地域構想研究所客員教授）



www.renraku-k.jp

2021年

11月27日(土) 14:00-18:00

ZOOMウェビナー [参加申込はこちら](#)

主催：日本における第二次世界大戦の長期的影響に関する学際シンポジウム実行委員会
一般社団法人全国精神保健福祉連絡協議会

このシンポジウムは特定の政治的立場に基づくものではありません。

このシンポジウムは JSPS 科研費 21K12909、一般財団法人中辻創智社、公益財団法人神経研究所精神神経科学センターの助成を受けて開催します。

参加費
無料

日本における第二次世界大戦の 長期的影響に関する 学際シンポジウム

第1回 日本における第二次世界大戦の経験 (2021年6月19日)

実践報告：第二次世界大戦と日本に関するドキュメンタリー制作に関わって
東野真 (NHK制作局第2制作ユニット (社会・文化) 統括プロデューサー)

研究報告：戦争はどのように拡大し、何が起きたのか
伊香俊哉 (都留文科大学文学部教授/歴史学)

アジア・太平洋戦争下における日本帝国の労働力動員

佐々木啓 (茨城大学人文社会科学部准教授/歴史学)

戦争孤児たちが一番苦しんだのは「親戚」

本庄豊 (立命館大学非常勤講師/歴史学・歴史教育)

指定発言：宮地尚子 (一橋大学大学院社会学研究科教授/文化精神医学・医療人類学)

第2回 日本の戦争への対応 (2021年7月31日)

実践報告：メディアの戦争責任に関する断章
佐々木央 (共同通信編集委員)

研究報告：傷ついた市民や兵士に対する医療・援護
一ノ瀬俊也 (埼玉大学教養学部教授/歴史学)

戦死者はどのように扱われたのか

浜井和史 (帝京大学共通教育センター准教授/外交史)

追悼の形式—黙禱儀礼の成立と変容

粟津賢太 (上智大学グリーフケア研究所客員研究員/宗教社会学・宗教学)

指定発言：荻本快 (相模女子大学学芸学部准教授/臨床心理学)

第3回 トラウマとポジショナリティ： 戦争の被害者・加害者としての日本 (2021年8月28日)

実践報告：戦争被害者の聞き取り調査を通じて得た気づき
岡檀 (情報システム研究機構 統計数理研究所特任准教授、一橋大学経済研究所客員教授/医療社会学)

研究報告：「いけにえの島」における住民と兵士との相克、そして晩発性PTSD
蟻塚亮二 (メンタルクリニックなごみ院長)

日本軍兵士と「加害者のトラウマ」再考

中村江里 (広島大学大学院人間社会科学部准教授/歴史学)

なぜこんな目に遭わなくてはならなかったのか

—原爆被害者の苦しみとその意味の追求

根本雅也 (松山大学人文学部准教授/社会学)

指定発言：川野健治 (立命館大学総合心理学部教授/社会心理学・臨床心理学・自殺予防学)

第4回 第二次世界大戦の長期的影響 (2021年10月9日)

実践報告：日中戦争によるトラウマの世代間連鎖と修復の試み
村本邦子 (立命館大学総合心理学部教授/臨床心理学・女性学)

研究報告：戦争がメンタルヘルスにもたらしたインパクト：自殺を中心に
竹島正 (一般社団法人全国精神保健福祉連絡協議会会長/大正大学地域構想研究所客員教授/精神保健学)

「身体化された軍隊経験」を振り返る

—「復員兵の子」というあるひとつの戦争経験のポストメモリー

蘭信三 (大和大学社会学部教授/社会学)

なぜ日本人は戦争体験をオープンに話し、経験をたどることができないか

森茂起 (日本における第二次世界大戦の長期的影響に関する学際シンポジウム実行委員会代表・甲南大学文学部教授/臨床心理学)

指定発言：北村毅 (大阪大学大学院文学研究科准教授/文化人類学・民俗学)

第5回 表面参照 (2021年11月27日)



www.renaku-k.jp